

山弓連

平成21年

4月 発行

新年度を迎えて

会長 天野 裕

未曾有の経済不況と不安定な政治状況の中で新しい年度をむかえました。それにも拘わらず会員諸氏には、日常生活を踏ん張り、斯道精進をも踏ん張り、明るい明日を希求しながらご尽力されていることに対し心から敬意を表します。

さて、本連盟役員は平成19・20年度の任期を終了し、去る3月22日の総会において新役員が承認されました。前期在任中は会員各位の一方ならぬご協力とご支援をいただき、連盟の各行事の円滑な運営はもとより、各位の技量向上や会員相互の親睦も図られ多少なりとも所期の目標へ歩み寄れたのではないかと感謝申し上げます。

笹本朝樹理事長、河西伊三男指導部長、内田堅治郎監事のお三方にはそれぞれのご事情やご都合により退任されましたが、在任中の献身的なご活躍により、その任務を十分に果たされましたことは会員諸氏の認められるところであります。ここに皆様共々そのご尽力に感謝したいと思います。

新役員は別表の通りですが、前期役員に変わりませず宜しくご協力とご支援をお願い致します。事務局宅、県外審査等の申込先など、変更がありますのでご確認の上、手続き等を間違われないようお願いいたします。

全日本弓道連盟は全国9つの連合会から成り立っており、私ども山弓連は関東地域弓道連盟連合会（1都7県の地方連盟が構成する連合会）に所属しています。この連合会が担当する行事の主なものに次のようなものがあります。

国民体育大会関東ブロック大会、全日本選手権大会、関東地域代表選考会、関東選抜選手権大会、関東北部地区指導者講習会、関東南部地区指導者講習会、関東臨時中央審査、関東錬士中央審査、東日本学校指導者講習会、関東地区幹部指導者講習会、関東地区女子講習会、それに全日本女子弓道東日本の部。

関東南部地区は山梨、東京、神奈川の3地連で構成されているため、関東南部地区指導者講習会は3年に一度の割合で講習会を主管し、その他の行事はおよそ8年に一度の頻度で各地連が主管することになっています。

取りわけ冒頭の3大会は大がかりになりますが、中でも関東ブロック大会は国民体育大会への参加権を得るための大会で各地連の熱意が最も高まる競技になります。昨年、会員諸氏のご尽力で成功裡に運営された山弓連主管のブロック大会は8年後にまた巡ってきます。この大会の競技運営で培われたノウハウを年中行事の中の競技会で常に生かしながら、「その時」の運営に役立てて欲しいと願う次第です。

「弓道」誌3月号でも発表されている通り、全弓連の本年度最重要課題の一つに中学校武道必修正課化の推進・準備があります。文部科学省が掲げる「学校における武道指導の充実」を図るため、平成24年度の実施に向けて立案・準備を行うものであります。特に武道場の整備、指導者の養成・確保、武道用具等の整備などの条件整備のうち、指導者の養成・確保には時間が掛かります。

学校が存在する地域連携指導として外部指導者の活用や特別非常勤講師などで地域のスポーツ人材が活用されるのは必定と思われまます。

会員諸氏には自己研鑽は言うまでもなく後進の指導者として、指導計画や指導方法にも研究の目を向けていただき、支援を求められたときには、それに応えられるような研修も日頃の心掛けに組み入れて頂きたいと思ひます。

有段者、高段者へは或る意味で指導し易さがあります。しかし、全くの初心者への指導でこそ指導力が問われます。各支部や各道場で日常行われている修練の中で、個々人に応じた指導の内容や方法が一貫して継続されているどうか、改めて顧みて頂きたいと思ひます。初心者が弓道修練に求めている、楽しさ、満足度、充実感などをどこまで満たしているか。愛好者数の拡大と普及発展は初心者指導の成功度に大きくかかっています。

本年度は全弓連創立60周年を迎えます。記念の行事と大会が10月に東京で開催され、各地連代表者による対抗試合が計画されております。各支部で行われている日常の地道な活動こそが地連活動の大切な基盤であり力の源であります。そこで培われた力が連盟行事の中で発揮され、関東や全国のレベルで発揮されることを期待しております。

弓道修練の眼目として掲げられた四項目を常に念頭に置き、斯道精進を通じて社会文化の進展に寄与することができますように本年度も会員の皆様の一層のご活躍とご健勝とを祈念しております。

平成21～22年度役員

名誉会長	中沢利正	指導部長	小林源治
顧問	安藤秀保	審査部長	佐野辰巳
会長	天野 裕	競技部長	長田長久
副会長	秋山照美	選手強化部長	深澤武重
副会長	古屋俊彦	女子部長	標 衣枝
副会長	五味光仁		
理事長	有賀武雄	監 事	上野捷利
総務部長	鈴木茂雄	監 事	小澤重平
同副部長	芦澤茂幸		

三段	11	4
四段	4	2
合計	109	71

・今年度最後の審査会となりました、ご苦労様でした。次年度は平成21年5月24日(日)となります。

全国ねりんピック弓道大会県予選

全日本勤労者弓道選手権大会代表県予選

平成21年4月6日(日) 小瀬弓道場

新年度を迎えて最初の行事が天候に恵まれ、弓道日和の4月6日、県下の、正に年輪を重ねた弓友が一同に会し長年の修練の成果を弓に託し、北海道、北見市での全国のねりんピックに向けて、熱戦を繰り広げました。また、勤労者選手権の出場をかけて、TEPCO、横河電機の3チームが覇を競いました。

全日本勤労者弓道選手権大会出場チーム

1、TEPCO 山梨A 2、TEPCO 山梨B

全国ねりんピック北海道大会出場選手

竹村榮壽 西堀泰弘 古屋昭子 中込明 金子力

(補欠) 長田長久 坂崎満子

(予備) 網倉徳夫 上野清子

⑧ 県外審査申込は、主催者の指示する締切日の

12日前までに(県外審査申込担当)「古屋副会長宅」に申込書を送付する

⑨ 県外行事申込は、主催者の指示する締切日の

10日前までに有賀理事長に申込書を送付する

関東連合審査(五段)日程表

	実施日	締切予定	主管地連	申込責任者	実施会場
1	5/10	4/11	神奈川	長谷川欣一	横浜市東立武道館弓道場
2	5/17	4/18	山梨県	有賀武雄	甲府市小瀬武道館弓道場
3	5/31	4/30	東京都	鹿野伸郎	渋谷区中央道場
4	6/7	5/6	群馬県	小林正美	前橋市くまま武道館弓道場
5	7/26	6/26	千葉県	林 茂美	千葉市運動公園弓道場
6	8/9	7/10	東京都	鹿野伸郎	渋谷区中央道場
7	9/21	8/22	栃木県	栗樹悦子	宇都宮市弓道場(屋外)
8	10/11	9/10	茨城県	山村 晋	水戸市東立武道館弓道場
9	10/12	9/11	埼玉県	加藤良子	埼玉県立武道館(上尾市)
10	11/22	10/21	東京都	鹿野伸郎	渋谷区中央道場
11	2/28	1/31	東京都	鹿野伸郎	渋谷区中央道場

安藤秀保先生(前会長) 逝く

「願はくは花の下にて春死なん そのきさらぎの望月のころ」と西行法師は自分の死期を願いましたが、前会長安藤秀保先生には4月6日未明、桜花、桃花が爛漫たるこの詩の様な状況下で眠るように穏やかにご逝去されました。昭和60～61年副会長、62年～平成6年理事長、平成9年～平成16年会長を務められ、昭和61年の「かいじ国体」の準備に専従として携わった期間を含めた20数年間を山弓連の幹部として全力投球されてきました。国民体育大会の準備は文字通り白紙のような状況から、組織の改編、選手育成、運営役員養成、資金調達、施設設備の準備等に余人の及ばない力量を発揮され、見事な結果を残されました。その後のご活躍は会員諸氏ご存じの通りで山弓連 中興の祖と称された所以です。通夜、告別式は増穂町のセレモニーホールでしめやかに執り行われ、多くの会員諸氏の弔問をいただきました。七段追授の認許状と並び県教育功労者、全弓連からの感謝状等も飾られ、名残の弓三張りが生前のお写真集や手書きの「山弓連」広報誌と共に生前の業績を偲ばせ、心の籠もった葬儀となりました。先生のご冥福を心からお祈り致します。

(天野会長)

審査報告

審査部長 佐野辰巳

平成20年度 平成21年2月県内審査報告

平成21年2月15日小瀬弓道場で今年度最後の県内審査が行われ109名が受審され、その内71名が合格されました、その結果を次のとおり報告します。

集計表

段級位	受信者数	種別	合格者数
査定	39	2級	0
査定		1級	23
査定		初段	15
初段	39		18
二段	16		9